

顔認証本人確認の標準に

世界デジタルサミット

米リアルネットワークスCEO ロブ・グレイザー氏



創業回を百回超え、現在は60歳を過ぎたグレイ氏は、1994年にリアルネットワークス社を創業し、2001年に同社を公開した。2002年に同社をリアルネットワークス社に再編した。2003年に同社をリアルネットワークス社に再編した。2003年に同社をリアルネットワークス社に再編した。

「3つの理由がある。1つは強力なコンピュータビジョンやデータサイエンス技術のコア技術のチームがあること。2つ目は我々が提供する世界的に使われる動画再生ソフトの『リアルプレーヤー』を通じて集めた本物の顔データに基づくデータセットを作り上げた。3つ目は実際に使った後のフィードバックを反映させて、さらに精度を高める仕組みを整えているためだ」

「顔認証技術は今後、社会的にどのような活用が期待されますか。」「顔認証は本人確認の標準的な技術となっていくだろう。日本では医療機関などで使われるマイナンバー」

カードリーダーのシステムや、学校に出入りする人物のチェックにも採用されている。オフィスビルの従業員の入退室管理や、さらに入られるようになればも特定の部屋に許可された人物のみを入れるセキュリティ」

「顔認証を使ったサービス」

プライバシー無視すれば退場

「AIによる偽の映像」

「信頼が市場獲得のカギ」